



DESIGN with FOCUS

デザイナーの冒険展

トークイベントのご案内

会期中の毎週土曜日（12月27日を除く）は
トークイベントを開催します。

※都合により内容が変更となる場合がありますのでご了承ください。

会場 富山県美術館 3階 ホール

各日 14:00 ~ ※申込不要・入場無料

第1回 **11.8 Sat**

後藤 映則（アーティスト）



1984年岐阜県生まれ。時間や動き、流れが、人の知覚や記憶、存在とどのように関わるのかを探求し、インスタレーション、映像、彫刻を主な表現手段としている。
「札幌国際芸術祭 SIAF 2024（未来劇場、札幌）」、「Athens Digital Arts Festival: Techno(s)cene | 20 YEARS 2024（Former Santarosa Courts、アテネ、ギリシャ）」、「MOT アニュアル 2023 シナジー、創造と生成のあいだ（東京都現代美術館、東京）」など。国内外で発表多数。



第2回 **11.15 Sat**

【特別展示】鈴木啓太（PRODUCT DESIGN CENTER 代表／プロダクトデザイナー／クリエイティブディレクター）



1982年愛知県生まれ。古美術収集家だった祖父の影響を受け、幼少期より手仕事とものづくりへの関心を深める。2012年に自身のスタジオ PRODUCT DESIGN CENTER を設立。日用品から公共交通機関のデザイン、素材開発、工芸作家や海外ブランドとの共創まで、多岐にわたる領域で活動。伝統技術と最先端テクノロジーを自在に行き来しながら、美意識と世界観、機能性を融合させた「100年後に残るデザイン＝未来の遺産」を追求している。



第3回 **11.22 Sat**

本多 沙映（デザイナー／アーティスト）

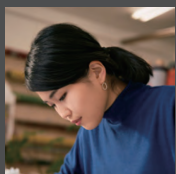


1987年千葉県生まれ。2010年武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科を卒業後、アムステルダムのヘリット・リートフェルト・アカデミーでコンテンポラリージュエリーを学ぶ。2021年にオランダから日本に拠点を移し、制作活動を行う。既存の価値体系に詩的なアプローチでゆるやかに疑問を投げかけながら、オルタナティブな美意識を探究する。作品はアムステルダム市立美術館、アムステルダム国立美術館、アーネム美術館に永久所蔵されている。

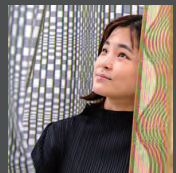


第4回 **11.29 Sat**

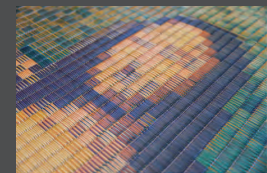
氷室 友里（テキスタイルデザイナー／アーティスト） × **光井 花**（テキスタイルデザイナー）



1989年東京都生まれ。多摩美術大学テキスタイルデザイン専攻卒業。フィンランドでテキスタイルを学んだ後、多摩美術大学大学院テキスタイルデザイン研究領域修了。2016年 HIMURO DESIGN STUDIO 設立。人と布との関わりを通して、日々驚きや楽しさをもたらす豊かにしていくことをテーマにテキスタイルブランド YURI HIMURO を立ち上げ、オリジナル作品の開発、空間演出、企業へのデザイン提供などを行う。東京造形大学非常勤講師。



1990年アメリカ、コネチカット州生まれ。英国のロイヤル・カレッジ・オブ・アートを修了後、修了制作がアレキサンダー・マックイーンに採用され、2015SS パリ・コレクションで自身のテキスタイルを発表。株式会社イッセイミヤケを経て、2023年に HANA TEXTILE DESIGN STUDIO を設立。2024年に素材の研究や実験を行う HANA LAB 株式会社を設立。多摩美術大学生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻非常勤講師。



第5回 **12.6 Sat**

三好 賢聖（デザイナー／デザイン研究者）



1990年兵庫県生まれ。東京大学航空宇宙工学科卒業、同専攻修士課程を修了後、英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アートにて PhD を取得、最優秀博士論文賞受賞（独・アンハルト大学）。動き、身体性、詩にまつわる制作と研究を行う。東京都立大学インダストリアルアート学科助教、昭和医科大学兼任講師、ブレイコ国際クリニック認定呼吸法インストラクター。2023年に株式会社シンコキュウを創業。ポエティック・キュリオシティ共同主宰。



第6回

12.13 Sat

松山 真也 (プランナー／デザイナー／エンジニア／アーティスト)



1978年富山県生まれ。領域を横断しながら、キネティックな作品や体験装置の企画・設計・実装までを一貫して手がける。科学館や万博など公共空間での展示をはじめ、言葉や動作、音と光を用いた表現を通じて、人と世界の間を問い直す作品を発表。「気づき」や「問い」が自然に立ち上がる体験のデザインを探求しながら、観覧者との関係性のなかで成立する作品を追求している。



第7回

12.20 Sat

MAI SUZUKI (Sculptor of Sensibility)



1998年東京都生まれ。伝統工芸「組子」を3Dモデリングや身体構造と融合させ、ウェアラブルアートや空間作品を制作。9歳で始めた書道をきっかけに日本の感性に惹かれ、現在は日本古来の「粋」の精神を、有形無形を越えて翻訳表現する独自の視点で活動を拡張。2023年 DESIGNART TOKYO UNDER30、2024年みらいのファッション人材育成プログラム 5組に選出。2025年からロンドンでも活動を始動。



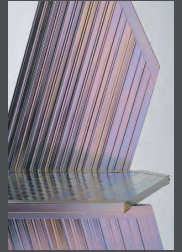
第8回

1.10 Sat

山本 大介 (空間デザイナー)



1980年東京都生まれ。インテリアデザインと建築をバックグラウンドにもち、国内外で空間デザインを軸に家具・プロダクトなどを横断するデザインを手がける。2022年に山本大介デザインスタジオを設立。社会環境や素材、技術などへの深い考察から生まれるコンセプトチュアルな再考を通じて、新しいデザインの可能性を迫り続けている。武蔵野美術大学建築学科、および空間演出デザイン学科非常勤講師。



第9回

1.17 Sat

進藤 篤 (デザイナー／アーティスト)



1991年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院デザイン専攻課程修了。内装設計会社のインテリアデザイナーとして、ホテル、オフィス、商業空間等のデザイン、設計に携わる。個人プロジェクトでは、「空気感 (ATMOSPHERE) をデザインする」をテーマに、空間・インテリアオブジェクト・アート作品等、多岐にわたる作品を発表。日常にある物事を捉え直し、素材の新たな可能性や、根源的な美を探る。



第10回

1.24 Sat

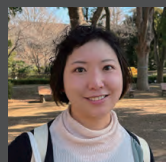
高野 洋平 + 森田 祥子 (MARU. architecture) (建築家)

高野洋平と森田祥子による建築設計事務所。主な作品に、土佐市複合文化施設、松原市民松原図書館、笹島高架下オフィス、花重リノベーション、伊賀市旧上野庁舎改修など。



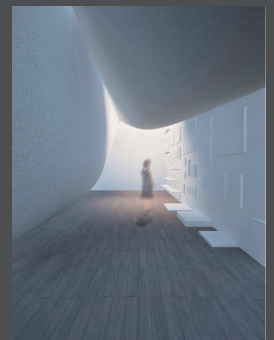
高野 洋平

1979年愛知県生まれ。2003年千葉大学大学院修了。佐藤総合計画を経て2013年 MARU. architecture 共同主宰。2025年千葉大学准教授。



森田 祥子

1982年茨城県生まれ。2008年早稲田大学大学院修了。2010年 MARU. architecture 設立、2013年共同主宰。



上から 松山 真也「音と音楽」、MAI SUZUKI「黒木舞」、山本 大介「FLOW PAINTING」、進藤 篤「LIMINAL」、MARU. architecture「思考のトンネル」

DESIGN with FOCUS デザイナーの冒険展

2025年11月8日(土)～2026年1月25日(日)

【お問い合わせ】

富山県美術館

〒939-0806 富山市木場町 3-20

<https://tad-toyama.jp>

TEL | 076-431-2711 FAX | 076-431-2712

開館時間 | 9:30～18:00

